



特別
子12
3643
28



右近

一声サレ遥

山姥

カハリ
クハカニ舞ノ

東岸居士

サレ小遥



大原御幸

口ニキ

花筵

切

善知鳥

切

公羽

三月往來
父ニ尉

右近

能興行其日之頭右近有之時此トク詠古者如此詠常也
觀世小次席信光如今文句作直シテ常詠ヲ以來如此詠常不詠然共
翁有之時頭有之時如此詠櫻作物車作物不出而一声如加茂也

見渡をバ。柳楊をこきさぎ。錦成かぎ。家

花車 都乃その春とさや。ひもたてぬ

きね。志ば。なま。面白やとこ。詠か。とて

桐子あよ。こや九重。花見月。貴賤。強集

も。袖と。了。祿。も。ひ。う。と。深。く。新。衣。の

日。も。う。け。ぬ。あ。さ。霞。松。子。た。る。び。を



志免の系乃縁のそもろろひ
 宮路たどき内聖の芝生はきぬ
 歩代とてのわけはよ
 八重一まみへて桜の色こに

山姥

能興行其日之頭山姥有之時務者此コトク詠三段舞有

上青
 よー 足寄の山姥がく 山めらるす
 若しき 足寄の山姥が 山めらる
 すぐる 若しき 野籠田
 花飯茶 更科御路の月雪
 とつハちまびちよりたつて

東岸居士

兼平藤渡如此類能ト東岸居士二番啓時ハ如此謠
可然也

ツリ

松をけへみぬ橋本にちまひをて花子
 色を流るる那橋柱まうも世の帯なき
 可電光朝露も程大まぐろく人間有
 為の世の有御色蕉泡沫み木かどむり
 ならまき流世申うな上考めぐる日影も
 小車乃割めぐる日影も小車の道をけむ

うにま〜何乃心ゆて橋む〜立
 后下際下なま〜な〜な〜な〜

大系中

古、如此詠今、朝長或景清等、任事、語有之能ト
大原御幸、二番詠、謠能發時、如此詠

うき身乃果るく解しき

古、
来先既
ヨク、
実い

しき物語、
むらさき先帝の、
御前、
御座り

むらさき、
御座り、
御座り、
御座り

むらさき、
御座り、
御座り、
御座り

むらさき、
御座り、
御座り、
御座り

むらさき、
御座り、
御座り、
御座り

むらさき、
御座り、
御座り、
御座り

むらさき、
御座り、
御座り、
御座り

むらさき、
御座り、
御座り、
御座り

むらさき、
御座り、
御座り、
御座り

むらさき、
御座り、
御座り、
御座り

むらさき、
御座り、
御座り、
御座り

むらさき、
御座り、
御座り、
御座り

むらさき、
御座り、
御座り、
御座り

樂乃^レ弘^ク法^ヲ傳^ル乃^レ妙^ク存^ル色^トと^テ女^ノ也^ト也^ト
 の音^モほ^リく^とよ^ク明^ク有^ルつ^る女^ノ
 哀^シ海^ノも^もあ^らず^す成^ルよ^るる^る

花 筥

古者如此謠儀得共今常詠文句觀世於帝長俊作ヨリ以來如此謠ハ
 能三不謠然共羽衣能ト花筥ト二番發ル時ハ如此謠テ可然也

君乃^レ清^クく^も流^ルり^有難^キ也^實や^力をも
 入^ズ一^ノ天^地成^ル一^ノ男^女の^中
 と^やり^らず^と大^に和^み身^とと^りま^す
 乃^レつ^つや^是又^ニ契^を守^ル花^筥榮^ル
 魚^乃た^りあ^らぬ^も海^國ゆ^づる^の心^も
 なく^も安^閑天^皇の^御女^とる^る日^の宮^と也^也

しんが
かたえのめ
ゆたあ
りなる

善知鳥

古者如此も謡今阿漕善知鳥二番發時如此謡申傳儀

羽ぬきとるるむらひり
外瀬風
理や己道な
ことりや我あづら
方よる出以批
心の責一まえまき
ぬもゆりや人子
あんそつらわつ
まはむぎに歌
亡者乃
あまき
かぎ
あまき
ゆく
え
ろ
との
な
海
波
の

音ふくも所を 見家後のうらふ
 見えたる 愛の 西歌の 滑となむ
 みるわ 流清とと成子らわ

上
 引よや

上
 萬歳乃々 免足にあり
 千年の松庭

小あわあ ちよめを たり穴

石とぞひえり 君代ハ

上
 千秋萬歳 喜乃

○其マ、引ツキテ四人立ナラフ
 アゲキヤトシトヤ オテ十月 往來

苗整法ノ
 音取ミテ
 立ニワリ仕
 ぬ。

とらうらうら 左下 あけもあやさんどや

ひろむのわやとんどもや 左下 燈しそ花

たれとむ 左下 まるくあやとむ

とや 左下 扇殿に人き事のみ

ろもやうも 左下 何事そいそ 左下 如家

目お度見 左下 きんま 左下 十二月の日 左下 くらん

ころ目お 左下 くらん 左下 そまころを目おた

ふん 左下 四月の松乃風 左下 まえの鈴と志

経 左下 くらん 左下 二月の法 左下 くらん 左下 狂なわ

祝 左下 をとやめたわ 左下 三月乃流

四方乃山 左下 なたあひ 左下 四月の郭公

と 左下 くらん 左下 ま 左下 くらん 左下 事を告 左下 くらん

五月のあや 左下 草 左下 玉の御殿 左下 を 左下 あき

くらん 左下 六月の扇 左下 くらん 左下 とく 左下 くらん 左下 に風

を^{左下}出^{左下}ホ^{左下} 七^右月^右の^右セ^右エ^右の^右色^右 ^右を^右や^右し

に^{左下}い^{左下}ふ^{左下}た^{左下}ま^{左下} ^{左下}月^{左下}は^{左下}ら^{左下}る^{左下} ^{左下}月^{左下}は^{左下}ら^{左下}る^{左下} ^{左下}月^{左下}は^{左下}ら^{左下}る^{左下}

法^{ホウ}律^{リツ}會^{カイ}々^{ツツ} ^{左下}九^{左下}月^{左下}の^{左下}ま^{左下}く^{左下}の^{左下}夜^{左下}

牙^ハ寶^{ホウ}藥^{ヤク}の^{左下}御^ミ藥^{ヤク}と^{左下}な^{左下}ら^{左下}ぬ ^{左下}十^{左下}月^{左下}の^{左下}時^{左下}雨^{左下}

小^ホ本^{ホン}花^カ葉^ヤ ^{左下}十^{左下}月^{左下}の^{左下}あ^{左下} ^{左下}十^{左下}月^{左下}の^{左下}あ

月^{ツキ}乃^ノ水^{ミヅ} ^{左下}十^{左下}月^{左下}乃^{左下}水^{左下} ^{左下}十^{左下}月^{左下}乃^{左下}水^{左下}

月^{ツキ}乃^ノ水^{ミヅ} ^{左下}十^{左下}月^{左下}乃^{左下}水^{左下} ^{左下}十^{左下}月^{左下}乃^{左下}水^{左下}

あ^ア ^左あ^左 ^左あ^左 ^左あ^左 ^左あ^左

ひ^ヒす^スい^イ ^左三^左十^左二^左 ^左三^左十^左二^左

あ^ア ^左あ^左 ^左あ^左 ^左あ^左 ^左あ^左

あ^ア ^左あ^左 ^左あ^左 ^左あ^左 ^左あ^左

あ^ア ^左あ^左 ^左あ^左 ^左あ^左 ^左あ^左

あ^ア ^左あ^左 ^左あ^左 ^左あ^左 ^左あ^左

あ^ア ^左あ^左 ^左あ^左 ^左あ^左 ^左あ^左

上五
右

不^レよ^レや^レ阿^レ

相舞^レ

下
左
右

あ^レ秋^レ萬^レ歳^レ喜^レ乃^レ舞^レ乃^レ舞^レ乃^レ舞^レ

阿^レ彌^レ陀^レ佛^レの^レこ^レえん^レや^レう^レ乃^レ釋^レ迦^レ
 半^レ庄^レ佛^レの^レこ^レえん^レや^レう^レ乃^レ生^レき^レ
 と^レい^レ後^レの^レこ^レえん^レ乃^レた^レつ^レた^レり^レは^レ
 を^レ解^レく^レそ^レの^レま^レは^レけ^レの^レこ^レえん^レ乃^レま^レ
 一^レあ^レき^レ父^レの^レこ^レえん^レ親^レ子^レの^レこ^レえん^レ乃^レ法^レ華^レ
 一^レ御^レま^レま^レの^レこ^レえん^レ乃^レ天^レ地^レ乃^レ治^レつ^レ
 一^レ民^レ古^レ乃^レ好^レ樂^レ乃^レ好^レ舞^レ乃^レ好^レ舞^レ乃^レ好^レ舞^レ

風　お　さ　さ　に　吹　か　す　た　ら　は　り　の　う　ら　り　と
お　も　た　る　お　も　た　の　お　う　れ　き　も　に　し　て
人　の　家　に　は　菜　花　の　薺　さ　あ　る　も　と
さ　く　の　四　海　は　あ　ま　お　よ　ほ　こ　ろ　の　目　の　元
す　ー　う　の　に　あ　ら　は　る　う　し　に　さ　い　ひ
舞　花　の　う　ら　よ　り　い　ひ　は　あ　ま　の　り
い　ら　り　の　う　ら　の　あ　ら　は　る　も　と　の　う　ら　り

お　も　た　る　お　も　た　の　お　う　れ　き　も　に　し　て
人　の　家　に　は　菜　花　の　薺　さ　あ　る　も　と
さ　く　の　四　海　は　あ　ま　お　よ　ほ　こ　ろ　の　目　の　元
す　ー　う　の　に　あ　ら　は　る　う　し　に　さ　い　ひ
舞　花　の　う　ら　よ　り　い　ひ　は　あ　ま　の　り
い　ら　り　の　う　ら　の　あ　ら　は　る　も　と　の　う　ら　り

天保三辰壬歲如月以清宣書

盛安寫之

物



